



櫻井 啓一
(自民党)

地域ビジョンの作成で特色あるまちづくりを

問 全国的に人口減少と少子高齢化が進展する中、市では「自助・互助・共助の精神」に基づき、市民協働、市民自治の仕組みをつくり、市民が主役のまちづくりを推進するため、それぞれの地域で「地域ビジョン」を作成することが、将来の地域の活性化にもつながるものと考えますが、現在の進捗状況と今後の予定、そして市の考え方は。

答 市では、ネットワーク型コンパクトシティを、目指す将来の都市の姿とし、その実現に向けたまちづくりを進めている。こうした中、地域の資源や特性を生かした魅力

ある地域づくりを実践するため、地域と行政が連携・協力し、地域ビジョンの策定を進めている。24年度までに、西、明保、姿川、清原の4地区が策定を完了し、現在は、東、雀宮、国本、城山、富屋の5地区が策定に取り組んでいる。

今後とも、地域ビジョンの策定にあたっては、市のまちづくりの方向性を踏まえながら、策定費用の補助や、地区市民センターなどの地域行政機関に配置した、まちづくり支援担当職員による支援の充実を図り、全ての地区が地域ビジョンを策定できるよう努めている。

その他の質問項目

- ①市長の政治姿勢（新交通システム（LRT）の導入及び公共交通の利便性向上ほか）
- ②市税の収納対策強化
- ③保健福祉行政
- ④農業政策（今後の水田農業の取り組みほか）
- ⑤教育行政（全国学力・学習状況調査と今後の対応ほか）



塚田 典功
(自民クラブ)

歯科口腔保健基本計画の重点項目は

問 市では、第2次健康うつのみや21を策定し、「健康寿命の延伸」を基本目標に掲げて推進しているが、このためには、生活習慣の改善が重要であり、食事や運動とともに、歯と口腔の健康づくりの推進が大きく寄与すると考える。

25年11月に宇都宮市歯科口腔保健基本計画を策定したが、健康寿命の延伸に向けた生涯を通じた歯と口腔の健康づくりについて、どのような点を重点的に取り組むのか。

答 歯科口腔保健基本計画では、市民が分かりやすく、実践しやすくなるよう、「妊娠期・乳幼児期」、「学齢期」、「成人期」、「高

齢期」の4つのライフステージを設定した。

特に、成人期では、進行的な歯周病の割合が全国平均より高いことから、早い年代から歯周病に重点的に取り組むことができるよう、歯科健診の充実強化を図るとともに、働き世代に積極的に働きかけ、歯周病予防の取り組みを進めていく。

また、要介護者や障がい者には、在宅歯科診療に加え、施設入所者などへ対象を拡大するなど、訪問歯科診療を重点的に推進し、これまで以上に歯と口腔の健康づくりに取り組んでいく。



▲忍者食丸くん

その他の質問項目

- ①市長の政治姿勢（26年度予算編成の考えほか）
- ②地域振興政策（ジャパンカップの盛り上げ方策ほか）
- ③健康寿命の延伸に向けた取り組み（糖尿病の予防対策）
- ④ワクチン接種（ロタワクチン導入ほか）
- ⑤殺処分ゼロに向けた取り組み
- ⑥教育行政



小平 美智雄
(市民連合)

受益者負担の原則で費用負担すべき

問 LRTの整備について、芳賀町より要望書が提出され、芳賀町と連携を図りながら一体的な整備を検討していく対応方針が示されたが、整備費用の分担については考えが示されていない。

近隣自治体との接続を行うのであれば、接続する自治体からも応分の負担の検討が必要であり、特に車両や変電設備などの共用部分においては、費用分担の考え方を示した上で協議に臨むことが必要と考えるが、芳賀町との整備費用の分担について考えは。

答 芳賀町域の工業団地への延伸については、10月に芳賀町・芳賀町議会

から連名で提出された「LRT整備に関する要望書」を受け、芳賀町と連携を図りながら市の優先整備区間と一体的に検討しているところである。

延伸区間の事業に係る芳賀町との役割分担については、町域に整備する施設は町の負担とし、車両や変電設備などの共有施設についても、応分の負担を求めていきたいと考えているが、今後、ルートや導入空間、運行計画など事業化計画の検討を進めていく中で、具体的な役割分担について協議していく。



その他の質問項目

- ①LRT（ピーク輸送時の対応、自動車交通との共存、LRT導入による経済波及効果ほか）
- ②社会保障・番号制度の施行に伴う対応
- ③東京オリンピックに向けての対応
- ④地域防災計画
- ⑤総合スポーツゾーン
- ⑥認知症対策
- ⑦消費税引き上げ時の経済対策